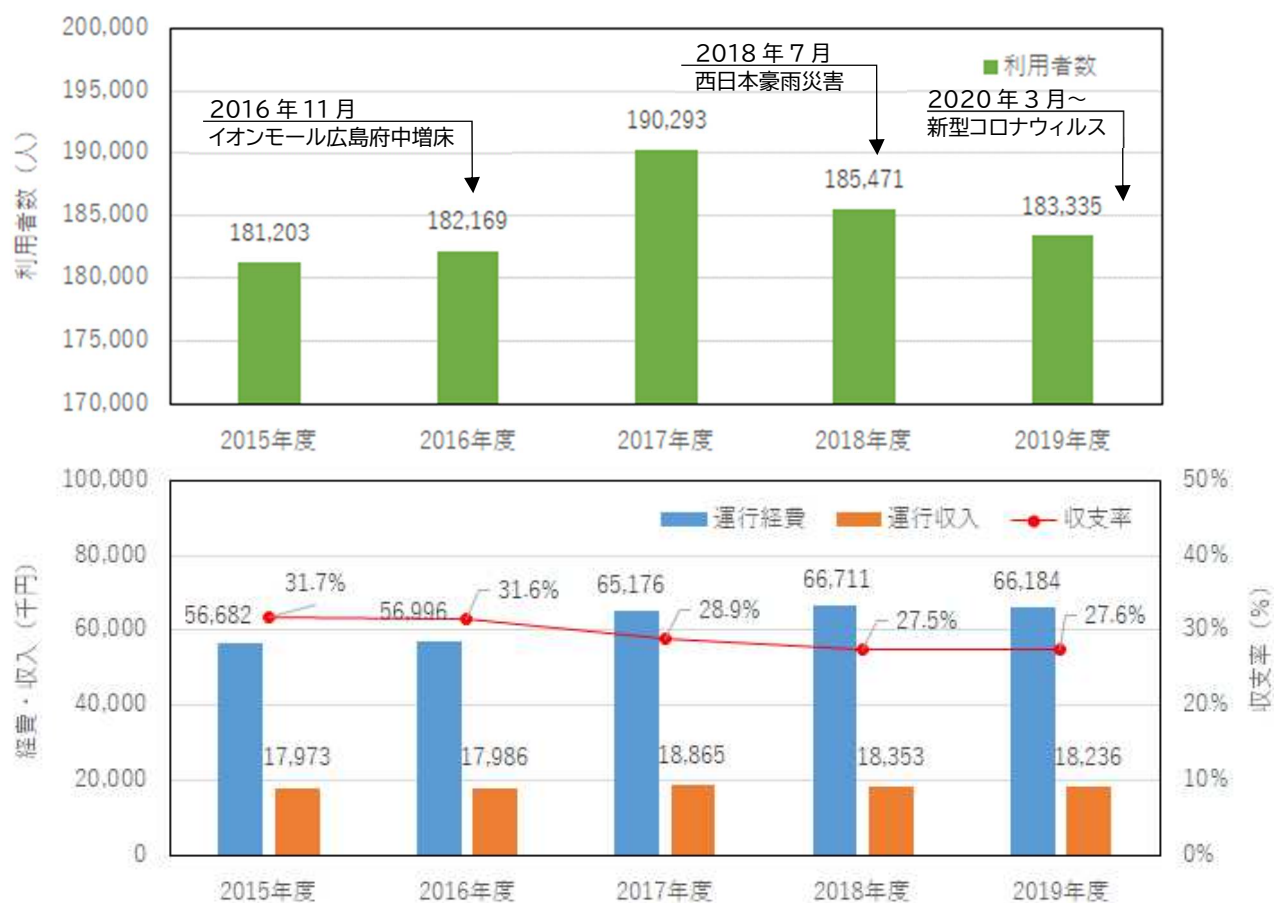


つばきバスの収支状況について

表 2019 年度(平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月)のつばきバスの収支状況等

路線名	利用者数 (人)	運行費用 (円)	運行収入 (円)	収支差 (円)	収益率 (%)
つばきバス	183,335	66,183,870	18,236,129	△47,947,741	27.6



過去 5 年のつばきバスの収支状況等の推移

2019 年度のつばきバスの年間利用者数は 183,335 人であり、2018 年 7 月の西日本豪雨災害の影響による利用者減から回復傾向にありましたが、2020 年 3 月より新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響により、利用者が大幅に減少したことにより、昨年度から微減となりました。

2019 年度のつばきバスの収支は、運行費用 66,183,870 円、運行収入 18,236,129 円であり、収支の状況は昨年度とほぼ変わらず、収支率 27.6%、年間約 48,000 千円の税負担が生じました。

【今後の方針】

つばきバスは、2021 年度を目途に運行ルート・ダイヤなどの路線再編を行うことで、利便性の向上を図り、「府中町地域公共交通網形成計画」に目標値として掲げる利用者 20 万人を目指します。

また、路線再編にあわせて、税負担と受益者負担のバランスが保たれるよう、料金体系も見直すことで、収支率 40%を目指すこととしています。